

12月議会 一般質問 報告



市議会議員

高本勝次

たかもと勝次

橋本市民会館 大ホール舞台階段の バリアフリー化

大ホール舞台への上り降りには、舞台の正面側と裏側の階段を使用することになり、手足の不自由な方や車いすの方は大変です。昇降機でバリアフリー化する提案をしました。

市長からは、51年を経過した建物で、できるだけ早いうちに今後どうしていくのか考えていきたいと思っています。・・・できましたら、昇降機のある産業文化会館や東部コミュニティセンターをご利用いただければと思います」との答弁で

した。引き続き、誰もが安心して利用できる公共施設にしていくよう取り組んでまいります。

観光案内パンフレットに オストメイト対応 トイレの記載

市民の方や観光客の方がわかるように、オストメイト対応トイレ設置場所を記載した観光案内パンフレットを、駅やホテル、観光名所等に設置すれば、親切なおもてなしになると提案しました。

経済推進部長から、下イレ情報提供は、非常に大切だと思えます。パンフレットを今後新しく紙面を更新する際には、施設設置を記載し、関係機関等でも配布できるように、進めていきたい」との答弁でした。橋本っていいところ、またこよう」と言ってもらえるような提案をこれからも取り上げて行きます。

地震等の災害時のため、要配慮者の避難支援訓練の実施

要配慮者を含めた拠点避難所での訓練は、いざという時に困らないようにするため、非常に大切です。どのように実施するのか、質問しました。

総合政策部長から 福祉避難所まで行くに至らないような方が、拠点避難所で生活できるにはユニバーサル的なコーナーを作る必要があると思えます。来年度以降、手を上げていただける拠点避難所があれば、要配慮者を含めた避難所訓練をモデル的に実施できればと、思っています」との答弁でした。



市議会議員

阪本久代

阪本ひさよ

人口減少と まちづくりについて

現在の橋本市の人口は目標人口どころか国立社会保険・人口問題研究所の人口推計を下回っています。その原因と対策について問い合わせました。また、橋本市まちづくりのためのアンケート調査の自由記述欄には、今までに5回引越してしましますが、一番住みにくいと感じます」など厳しい意見も

あります。橋本市は何を大事にするべきか、住民と一緒に議論することを提案しました。

総合政策部からの答弁は、出生数減の原因としては、若年世代の未婚率の増加や晩婚化があげられており、橋本市人口ビジョンにおいても、特に20歳から39歳までの女性の未婚率が全国よりも高いです。本市の転出者の傾向としては、10代から30代の方が多く、転出先として最も多いところは大阪府であり、進学や就職等にもなう転出が多いことがうかがえます。若い世代の希望をかなえるまちに住んでよかった住みたくなるまち」を目指し平成30年に第2次橋本市長期総合計画を策定しました。アンケートやタウンミーティング、出前講座などで出された声をできる限り反映させていきます。」

お金が無いといって市民の要求を抑えるのではなく、どこに重点をおくのか市民と話しよに考え、合意を得ることが大事だと思います。

小中学校の夏休み 今年から短縮

今年夏には小中学校の普通教室にエアコンが設置されますが、今まで8月31日までだった夏休みが25日までに短縮されます。

新学習指導要領が実施されると授業時間が増えるためだということですが、みなさん、どう思いますか。